

令和 8 年度 新潟県・阿賀町総合防災訓練

＜実施要領＞



新潟県・阿賀町

目次

I 訓練の概要	3
II 訓練の詳細	
A 臨時災害放送局開設・運用訓練	13
B ヘリコプター等運航統制・情報収集伝達訓練	14
C 孤立集落における救出救助訓練	15
D 孤立集落における救助部隊等の空輸訓練	16
E 応急救護所設置・運営訓練	17
F 孤立集落への物資輸送訓練（ドローンでの搬送）	18
G 住民避難訓練・シェイクアウト訓練	19
H 避難所設置・運営訓練	20
I 多数遺体取扱訓練	21
J 救援物資搬送訓練	22
K ペット同行避難訓練	23
L 災害ボランティアセンター設置・運営訓練	24
III 展示・体験ブース	25
IV 中止基準	32
V その他参考資料	
○ 駐車場位置図	33
VI お知らせ	34

I 訓練の概要

1 目的

防災関係機関相互の緊密な連携体制を構築し、併せて地域住民の防災に対する意識の高揚を図り、地域住民と防災関係機関との連携や協力体制の強化を図る。

2 日時

令和8年10月18日（日）午前9時から午後0時まで

3 会場

阿賀町

（阿賀町役場、津川漕艇場、阿賀黎明高校、やまぶきの里 ほか）

4 主催

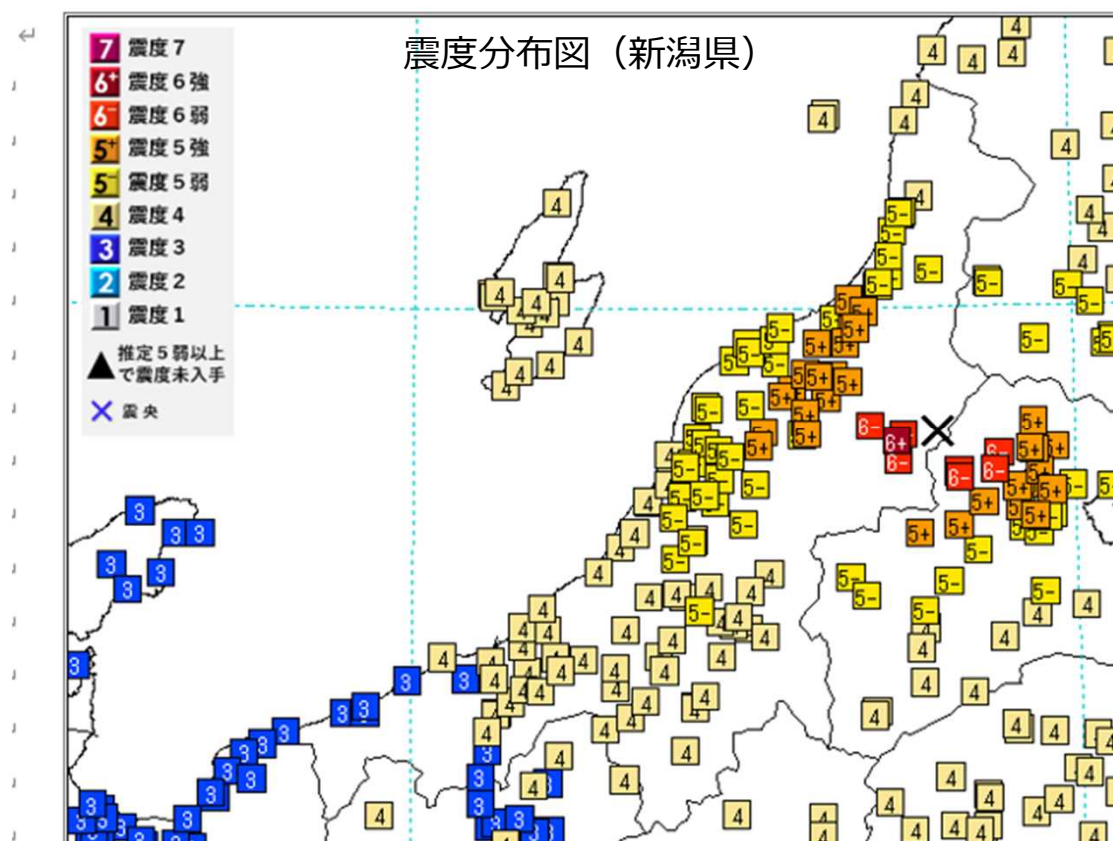
新潟県、阿賀町

5 訓練概要

新潟県下越地方を震源とするマグニチュード5.8及び6.8の地震が連続して発生し、阿賀町では最大震度6強を観測したとの想定のもと、総合防災訓練を実施します。

地震に伴う土砂災害や家屋倒壊により複数の集落が孤立した状況を想定し、関係機関が航空機、ドローン及びボートを活用した救出・救助活動や物資輸送を実施します。

また、住民避難訓練や避難所の開設・運営訓練を通じて、防災力の向上と関係機関の連携強化を図ります。



6 訓練のコンセプト

- ✓ 激甚化・頻発化する災害への対応に向けた、関係機関相互連携の一層の強化
- ✓ デジタルツールを活用した避難者情報の収集・共有の効率化及び住民による避難所運営
- ✓ 孤立地域への対応方法の多重化
- ✓ 地域住民が防災を考え、体験する機会の提供

7 参加機関（展示・体験ブース出展機関含む。順不同）

（１）行政機関〔３１〕

国土交通省気象庁新潟地方気象台、国土交通省北陸地方整備局・国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所、国土交通省海上保安庁第九管区海上保安本部、総務省信越総合通信局、国土交通省北陸信越運輸局、県産業労働部創業・イノベーション推進課、県福祉保健部地域医療政策課、県福祉保健部福祉保健総務課、県警察本部警備部警備第二課、県警察航空隊、県警察本部警備部機動隊、県警察本部刑事部捜査第一課、県警察津川警察署、県下越動物保護管理センター、県消防防災航空隊、警察庁関東管区警察局、県総務部県民生活課、県知事政策局国際課、阿賀町総務課、阿賀町町民生活課、阿賀町こども・健康推進課、阿賀町福祉介護課、阿賀町消防本部、県防災局防災企画課、県防災局危機対策課、県防災局消防課、陸上自衛隊第30普通科連隊、陸上自衛隊第12ヘリコプター隊、自衛隊新潟地方協力本部、航空自衛隊航空救難団新潟救難隊

（２）インフラ関係機関〔６〕

一般社団法人新潟県LPGガス協会、KDDI株式会社、楽天モバイル株式会社、株式会社ドコモCS新潟支店、東北電力ネットワーク株式会社新潟支社、NTT東日本株式会社

(3) 保健・医療・福祉関係機関〔14〕

公益社団法人新潟県栄養士会、一般社団法人新潟県歯科医師会、一般社団法人五泉市阿賀町歯科医師会、一般社団法人新潟県歯科衛生士会、日本赤十字社新潟県支部、国立大学法人新潟大学未来社会共創ラボ、国立大学法人新潟大学工学部、国立大学法人新潟大学医学部災害医療教育センター、赤帽新潟県軽自動車運送協同組合、社会福祉法人阿賀町社会福祉協議会、社会福祉法人新潟県社会福祉協議会、国立大学法人新潟大学死因究明教育センター、公益社団法人新潟県柔道整復師会、日本防災士会新潟県支部

(4) 民間企業・団体等〔21〕

東日本段ボール工業組合、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、株式会社ニットク、ソフトバンク株式会社、新潟レスキューバイク隊、公益社団法人新潟県トラック協会、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会、公益社団法人新潟県隊友会、一般社団法人新潟県警備業協会、一般社団法人新潟県解体工事業協会、新潟県災害ボランティア調整会議、株式会社アクティオ北信越支社、新潟マツダ自動車株式会社、平野石油株式会社、株式会社BSNアイネット、船山株式会社、イオンリテール株式会社・イオンディライト株式会社、一般社団法人AZ-COMネットワーク、株式会社トップライズ、リコージャパン株式会社新潟支社

計72機関

I 訓練の概要

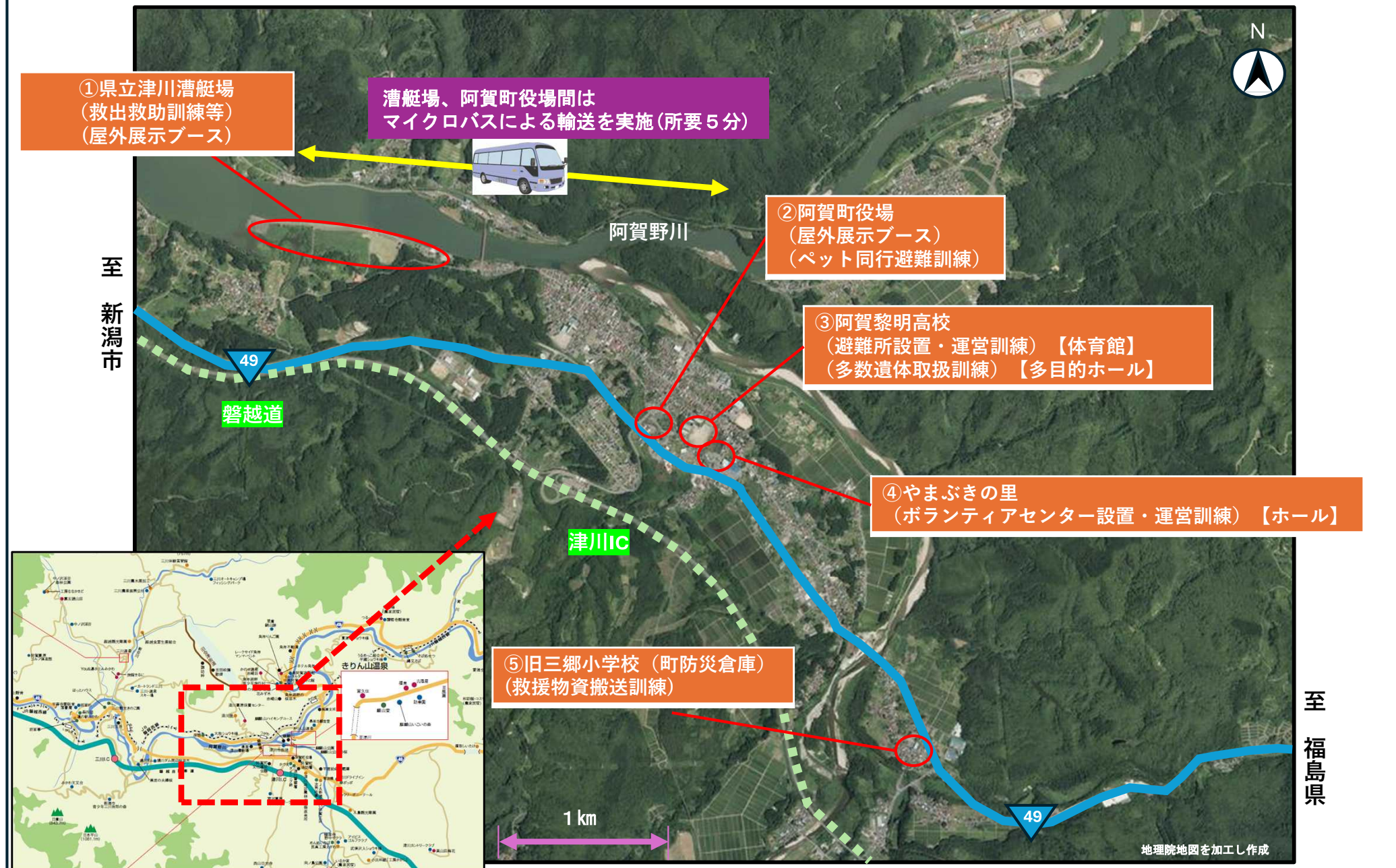
<訓練項目一覧>

訓練項目及び主な訓練内容		時 間	会 場
A	【臨時災害放送局開設・運用訓練】 災害時、住民へ迅速に情報提供をするため、臨時放送局を開設し避難所等に関する情報等を放送する。	09:00 ～ 12:00	津川漕艇場(艇庫付近)
B	【ヘリコプター等運航統制・情報収集伝達訓練】 各機関の航空機・ドローンの運航統制を行い、ヘリコプター・ドローン等により災害情報を収集する。	9:00 ～ 10:30	町全域 (津川漕艇場 艇庫事務室)
C	【孤立集落における救出救助訓練】 各救助機関が連携し、被災した孤立集落にボートやヘリコプターを活用して現地に進出した救助部隊やDMATが救出・救護活動を実施する。	9:00 ～ 10:30	津川漕艇場(艇庫付近)
D	【孤立集落における救助部隊等の空輸訓練】 孤立集落を想定し、各航空機による資機材の空輸及び負傷者等の救助避難を行う。また、迅速な人員投入と医療支援、物資輸送を行う体制を確認する。	9:10 ～ 10:30	津川漕艇場
E	【応急救護所設置・運営訓練】 消防本部が応急救護所を立ち上げ、負傷者等の受け入れを行い、救急隊及びDMATによるトリアージや医療処置の訓練を行う。	9:15 ～ 10:30	津川漕艇場(艇庫付近)
F	【孤立集落への物資輸送訓練(ドローンでの搬送)】 孤立集落を想定し、ドローンによる物資等の空輸を行う。	09:45 ～ 10:00	津川漕艇場
G	【住民避難訓練】 地震発生時における住民の初動行動の徹底および避難指示発令後の迅速な避難行動を確認する。	10:00 ～ 10:45	町内 (阿賀黎明高校)
H	【避難所設置・運営訓練】 各機関による避難所設置・運営、要配慮者への福祉支援、アプリによる避難者受付、設備の充実化や医療支援等を行う。	10:00 ～ 12:00	阿賀黎明高校
I	【多数遺体取扱訓練】 災害時に多数の死者が発生したことを想定し、的確な検視・検案、身元の特定を行う。	10:00 ～ 11:30	阿賀黎明高校 (多目的ホール)
J	【救援物資搬送訓練】 災害救援物資搬送と作業手順を確認するため、町防災倉庫から避難所への物資搬送を行う。	10:00 ～ 11:15	旧三郷小学校～ 阿賀黎明高校
K	【ペット同行避難訓練】 災害時にペットと同行避難した住民の受付を実施し、ペットを収容するスペースを確保する。	10:00 ～ 11:45	阿賀町役場(車庫)
L	【災害ボランティアセンター設置・運営訓練】 災害ボランティアセンターの運営(ボランティア受付や被災者からの相談等)に関する訓練を行う。	10:00 ～ 11:30	やまぶきの里 (ホール)

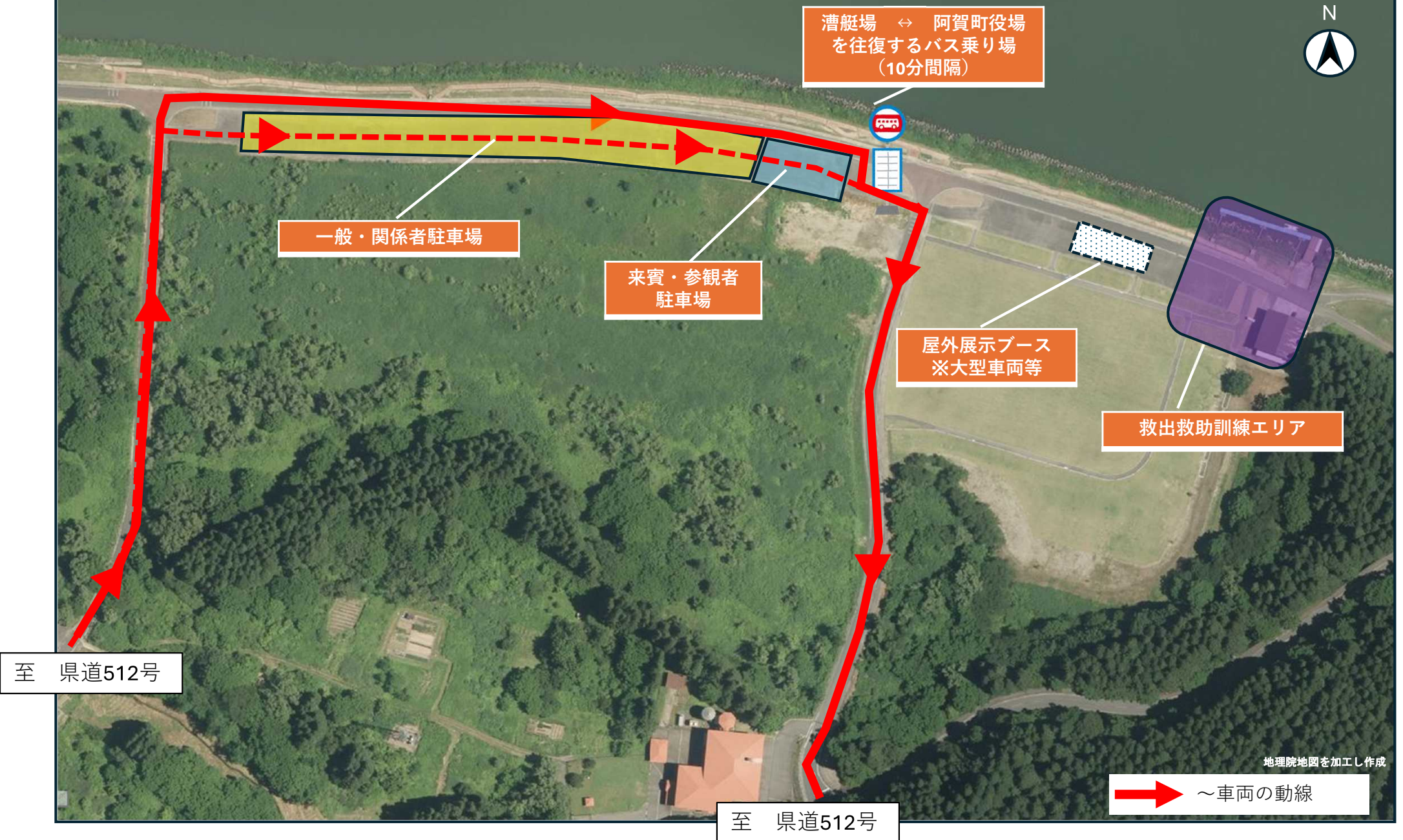
令和8年度 新潟県・阿賀町総合防災訓練 タイムスケジュール

No	訓練項目 (会場別)	訓練時間		訓練時間 会場	地震 9時										避難指示 10時										11時									
		開始 時間	終了 時間		9:00	10	20	30	40	50	10:00	10	20	30	40	50	11:00	10	20	30	40	50	12:00											
A	臨時災害放送局開設・運用訓練	9:00	12:00	津川漕艇場 (艇庫付近)	・臨時災害放送局開設・運用訓練																													
B	ヘリコプター等運航統制・情報収集伝達訓練	9:00	10:30	町全域 艇庫事務室	・航空機・ドローンによる情報収集及び運航統制 ヘリ：海保ヘリ、陸自ヘリ、空自ヘリ、県警ヘリ ドローン：阿賀町消防、NTT、トップライズ																													
C	孤立集落における救出救助訓練	9:00	10:30	津川漕艇場 (艇庫付近)	・航空機、ボートを活用した救助部隊、車両等の輸送 ・倒壊家屋、土砂埋没車両からの救助訓練 ・多数負傷者対応訓練 阿賀町消防、県警察、自衛隊、DMAT、救助犬																													
D	孤立集落における救助部隊等の空輸訓練	9:10	10:30	津川漕艇場 (リギング場等)	・航空機による資機材の空輸及び負傷者等の救助 陸自ヘリ：DMAT、県警、資機材、車両搬送 県警ヘリ：救助犬の搬送、重傷者の医療機関搬送 空自ヘリ：負傷者のつり上げ救助																													
E	応急救護所設置・運営訓練	9:15	10:30	津川漕艇場 (艇庫付近)	・孤立集落から救助した救護及び負傷者の受け入れ																													
F	孤立集落への物資輸送訓練 (ドローンでの搬送)	9:45	10:00	津川漕艇場 (調整中)	ドローンによる物資輸送																													
G	住民避難訓練・シェイクアウト訓練	10:00	10:45	町内 (阿賀黎明高校)	・避難訓練 ・シェイクアウト訓練																													
H	避難所設置・運営訓練	10:00	12:00	阿賀黎明高校	・デジタルツールを活用した避難所受付 ・住民による避難所の設置・運営訓練 ・要配慮者への福祉支援・口腔ケアなど																													
I	多数遺体取扱訓練	10:00	11:30	阿賀黎明高校 (多目的ホール)	・受付・検視・検案書作成・身元特定・納棺																													
J	救援物資搬送訓練	10:00	11:15	旧三郷小学校～ 阿賀黎明高校	・防災倉庫から物資の積載										・避難所への搬送・荷下ろし																			
K	ペット同行避難訓練	10:00	11:45	阿賀町役場 (車庫)	・ペット避難所での受付・預かり																													
L	災害ボランティアセンター設置・運営訓練	10:00	11:30	やまぶきの里 (ホール)	・災害ボランティア設置・運営																													
N	展示・体験ブース	9:00	12:00	津川漕艇場 阿賀町役場 阿賀黎明高校	展示・体験ブース																													

令和8年 新潟県・阿賀町総合防災訓練 会場全体図



津 川 漕 艇 場(会場レイアウト)



阿賀町役場から阿賀黎明高校まで会場レイアウト



訓練会場(津川漕艇場)

【訓練想定】

地震に伴う土砂崩れにより、漕艇場付近で孤立集落が発生し、関係機関が連携して救出・救助活動を実施する。

- ①9:00～海上保安庁ヘリによる上空からの情報収集
- ②9:10～阿賀町消防によるドローンを用いた右岸側からの情報収集
- ③9:15～消防、警察のボートにより、消防・警察部隊及びDMATが孤立集落へ進出
- ④9:20～孤立集落での救助活動開始
- ⑤9:25～陸自ヘリがリギング場に着陸し、陸自・県警部隊、DMAT及び応急救護所資機材を空輸。到着後、空輸した陸自車両により孤立集落へ搬送
- ⑥9:40～応急救護所を設置し、DMAT、救急隊、各救助部隊と連携した救護活動
- ⑦9:40～県警ヘリで空輸した災害救助犬がリギング場に到着
- ⑧9:45～孤立集落から救助した重傷者を県警ヘリに収容し、医療機関へ搬送
- ⑨9:40～阿賀町との防災協定を締結している企業によるドローンを活用した物資輸送
- ⑩10:15～孤立集落から空自ヘリによるホイスツ救助
- ⑪10:20～孤立集落から救助し、救急車で搬送が必要な負傷者をボートで移送



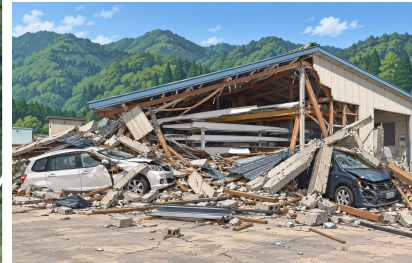
①海保ヘリによる情報収集



③ボートによる孤立集落への進出



②右岸側からドローンによる情報収集



④孤立集落での救出救助(艇庫等)

⑩孤立集落付近でのヘリコプターによる救助



⑪救急車による搬送

⑨ドローンによる物資輸送



⑥応急救護所設置・運営

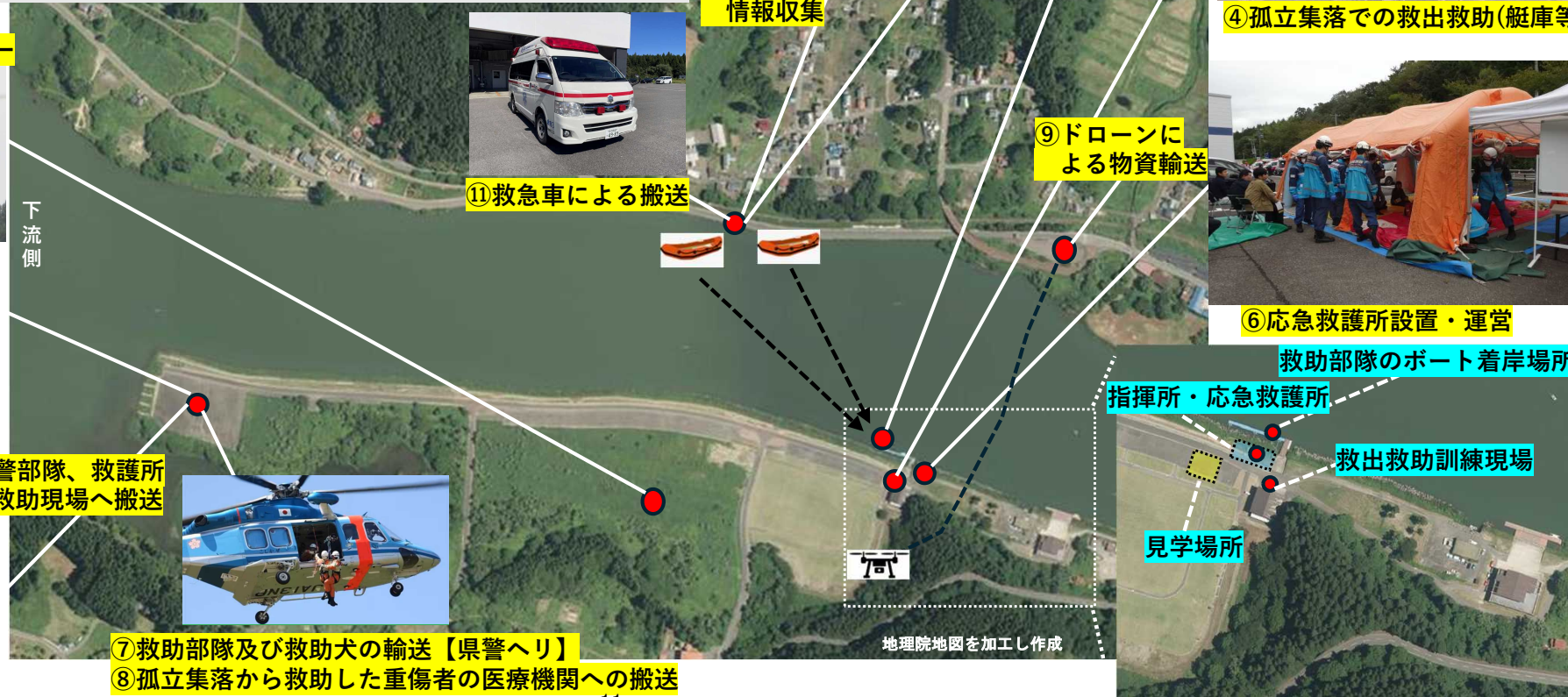
救助部隊のボート着岸場所

指揮所・応急救護所

救出救助訓練現場

見学場所

地理院地図を加工し作成



下流側

⑤ヘリ離発着場所【陸自CH】

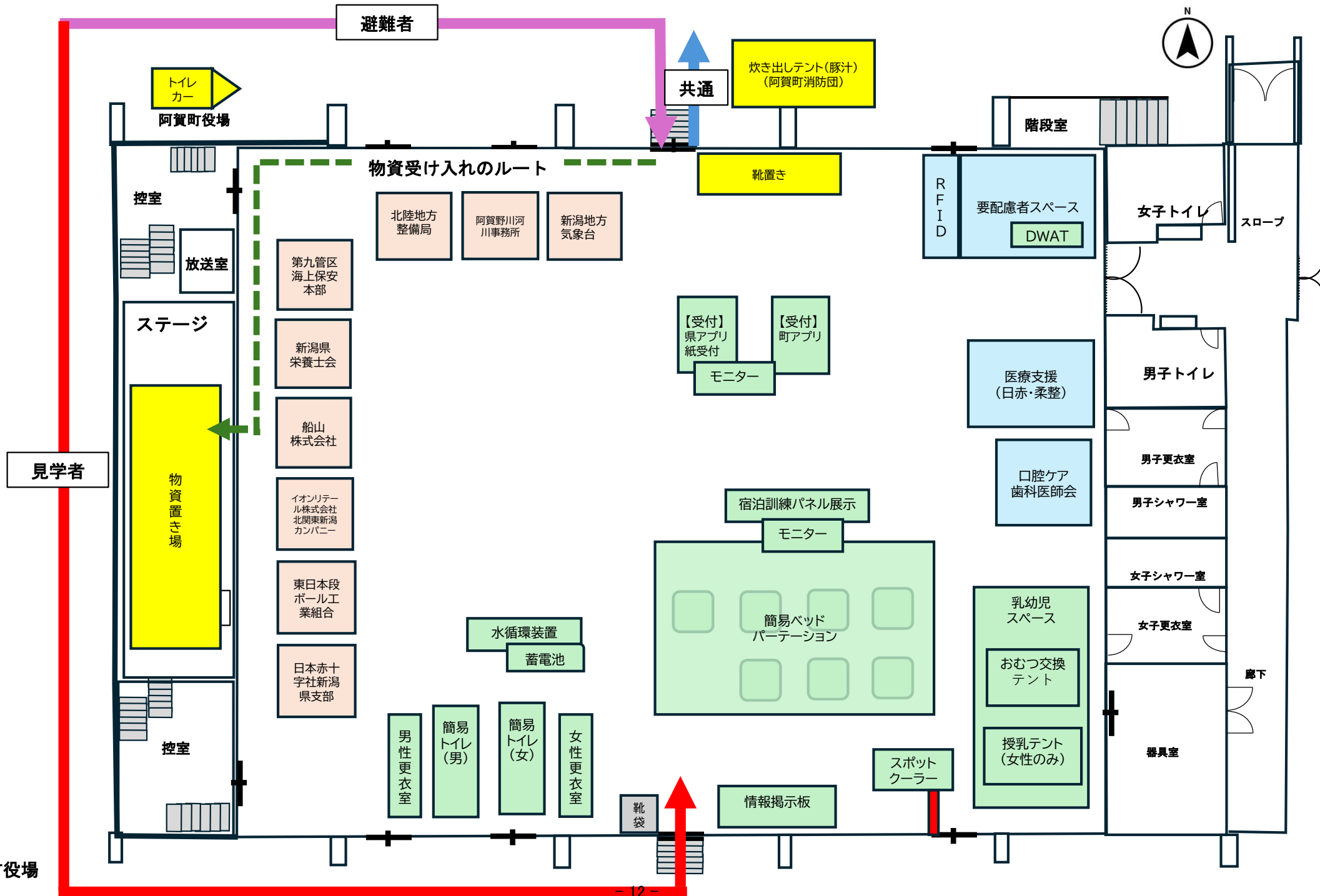
陸自車両、DMAT、陸自・県警部隊、救護所用の資機材を孤立集落へ輸送し救助現場へ搬送



⑦救助部隊及び救助犬の輸送【県警ヘリ】

⑧孤立集落から救助した重傷者の医療機関への搬送

避難所レイアウト (阿賀黎明高校)



Ⅱ 訓練の詳細

A 臨時災害放送局開設・運用訓練

会場

津川漕艇場(艇庫付近)

参加機関

総務省信越総合通信局、阿賀町総務課

実施内容

大規模災害の発生に伴い住民への情報伝達手段が制限される事態を想定し、臨時災害放送局の開設および運用手順を確認することを目的として実施する。

放送設備の設置、送信試験、情報収集・編集・放送の一連の作業を通じて、災害時における迅速かつ的確な情報提供体制の確立を図る。

時間

9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

《臨時災害放送局の免許手続(臨機の措置の場合)》



▲出典：「臨時災害放送局開設の手引き」
(総務省)

Ⅱ 訓練の詳細

B ヘリコプター等運航統制・情報収集伝達訓練

会場

町全域(津川漕艇場 艇庫事務室)

参加機関

国土交通省海上保安庁第九管区海上保安本部、陸上自衛隊第30普通科連隊、陸上自衛隊第12ヘリコプター隊、航空自衛隊航空救難団新潟救難隊、警察庁関東管区警察局、県消防防災航空隊、県警航空隊、株式会社トップライズ、NTT東日本株式会社新潟支店、新潟レスキューバイク隊

実施内容

各機関の航空機・ドローンの運航を統制し安全・確実・迅速な災害対応を行うため、各機関の航空機・ドローンに対し、航空無線による任務付与及び活動統制を行うとともに、航空機等による上空及び地上からの情報収集を行い地上航空統制本部への報告を行う。

時間

9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0



Ⅱ 訓練の詳細

C 孤立集落における救出救助訓練

会場

津川漕艇場(艇庫付近)

参加機関

阿賀町消防本部、陸上自衛隊第30普通科連隊、県警警備部警備第二課、県警警備部機動隊、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、県福祉保健部地域医療政策課、DMAT指定医療機関

実施内容

災害発生時において、速やかな救助活動を行うため、各救助機関が連携し、被災した孤立集落へボートやヘリコプターを活用して進出した救助部隊及びDMATが救出・救護活動を実施する。

また、各機関の特性に応じた活動を展開する救出・救助訓練を行う。

時間

9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0



Ⅱ 訓練の詳細

D 孤立集落における救助部隊等の空輸訓練

会場

津川漕艇場

参加機関

陸上自衛隊第30普通科連隊、航空自衛隊航空救難団新潟救難隊、県警警察航空隊、県消防防災航空隊、阿賀町消防本部一般社団法人ジャパンケネルクラブ、県福祉保健部地域医療政策課

実施内容

災害により孤立集落が発生した状況を想定し、航空機を活用した救助部隊・DMAT・災害救助犬及び各種資機材の空輸、ならびに負傷者の救助・搬送を実施する。

また、道路寸断等により地上からの進入が困難となった地域に対し、迅速な人員投入と医療支援、物資輸送を行う体制を確認する。

時間

9 : 1 0 ~ 1 0 : 3 0



Ⅱ 訓練の詳細

E 応急救護所設置・運営訓練

会場

津川漕艇場(艇庫付近)

参加機関

県福祉保健部地域医療政策課、阿賀町消防本部、DMAT指定医療機関

実施内容

災害時を想定し、消防本部が応急救護所を立ち上げ、負傷者等の受け入れを行うとともに、DMATの派遣を要請し、救急隊及びDMATによるトリアージや医療処置の訓練を行う。

DMAT：医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害の現場において活動できる機動性を持った災害派遣医療チーム

トリアージ：災害発生時などに多数のケガ人が発生した場合に、ケガの緊急度や重症度に応じて治療や搬送の優先順位を決めること

時間

9：15～10：30



Ⅱ 訓練の詳細

F 孤立集落への物資輸送訓練(ドローンでの搬送)

会場

津川漕艇場

参加機関

阿賀町総務課、株式会社トップライズ

実施内容

孤立集落が発生した状況を想定し、阿賀町と災害時協定を締結している民間機関が保有するドローンを活用して、物資等の空輸を行う。道路寸断等により地上搬送が困難となった地域に対し、迅速な物資輸送体制の確認と、関係機関との連携強化を図る。

時間

9 : 4 5 ~ 1 0 : 0 0



Ⅱ 訓練の詳細

G 住民避難訓練・シェイクアウト訓練

会場

町内（阿賀黎明高校）

参加機関

国土交通省気象庁新潟地方気象台、県警津川警察署、阿賀町総務課

実施内容

地震発生時における住民の初動行動の徹底および避難指示発令後の迅速な避難行動を確認する。

地震発生を想定したシェイクアウト訓練により、住民が「まず低く、頭を守り、動かない」などの安全確保行動を適切に行えるかを確認するとともに、避難指示発令後には指定避難所への避難経路の確認、避難誘導體制の点検、情報伝達手段の機能確認を行い、災害時における住民の安全確保と行政の避難対応能力の向上を図る。



時間

10:00～10:45



Ⅱ 訓練の詳細

H 避難所設置・運営訓練

会場

阿賀黎明高校

参加機関

阿賀町総務課、阿賀町福祉介護課、阿賀町こども・健康推進課、県防災局防災企画課、県福祉保健部福祉保健総務課、日本赤十字社新潟県支部、国立大学法人新潟大学未来社会共創ラボ、国立大学法人新潟大学医学部災害医療教育センター、国立大学法人新潟大学工学部、株式会社BSNアイネット、リコージャパン株式会社新潟支社、公益社団法人新潟県柔道整復師会、一般社団法人新潟県歯科医師会、一般社団法人新潟県歯科衛生士会

実施内容

避難所で新潟県避難所アプリ（避難者支援システム）やしらせあい(町アプリ)を活用した避難所受付を行う。

また、避難所設備の充実化、医師等による医療支援、要配慮者に配慮した避難所の設営などの取組を行う。

時間

10:00～12:00



Ⅱ 訓練の詳細

Ⅰ 多数遺体取扱訓練

会場

阿賀黎明高校(多目的ホール)

参加機関

県警察本部刑事部捜査第一課、阿賀町町民生活課、国立大学法人新潟大学死因究明教育センター、一般社団法人新潟県歯科医師会、一般社団法人五泉市阿賀町歯科医師会、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会

実施内容

大規模災害発生時において多数の死者が確認された際に、的確な検視・検案、身元の特定を行うため、関係機関が連携した一連の手順を確認する。

時間

10:00～11:30



Ⅱ 訓練の詳細

J 救援物資搬送訓練

会場

旧三郷小学校～阿賀黎明高校

参加機関

公益社団法人新潟県隊友会、国土交通省北陸信越運輸局、公益社団法人新潟県トラック協会、一般社団法人新潟県警備業協会、一般社団法人AZ-COMネットワーク、赤帽新潟県軽自動車運送協同組合、新潟レスキューバイク隊、阿賀町総務課

実施内容

災害救援物資の安全確実な搬送と、各機関との業務調整・作業手順の確認をするため、町防災倉庫から避難所（阿賀黎明高校）へ車両等による輸送を行う。

時間

10:00～11:15



Ⅱ 訓練の詳細

K ペット同行避難訓練

会場

阿賀町役場(車庫)

参加機関

県下越動物保護管理センター、阿賀町総務課、阿賀町町民生活課

実施内容

災害時にペットと同行避難した住民の受付を実施し、ペットを収容するスペースを確保するとともに、災害時にペットとの同行避難が可能であることを住民に広く周知する。

時間

10:00～11:45



Ⅱ 訓練の詳細

Ⅰ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

会場

やまぶきの里(ホール)

参加機関

社会福祉法人阿賀町社会福祉協議会、社会福祉法人新潟県社会福祉協議会、阿賀町福祉介護課、県総務部県民生活課、新潟県災害ボランティア調整会議

実施内容

災害ボランティアセンターを円滑かつ効率的に運営できるようにICTツールを活用して、ボランティア受付業務や被災者からの相談管理を適切に対応できるように訓練を実施する。

時間

10:00～11:30



Ⅲ 展示・体験ブース

会場

津川漕艇場(屋外展示)、阿賀町役場(屋外展示)
阿賀黎明高校(屋内展示)

実施内容

地震をはじめとした過去の災害に係るパネル展示や最新の防災機材を紹介するブース、特殊車両や地震体験車の展示などを行う。

時間

9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

出展機関及び概要一覧（予定）

屋外展示

機 関 名 称	出 展 概 要
陸上自衛隊第30普通科連隊	・ 人命救助セット ・ 訓練、災害派遣パネル ・ 車両展示
自衛隊新潟地方協力本部	自衛隊の災害派遣に関するパネル展示及び車両展示を実施します。
東北電力ネットワーク株式会社新潟支社	災害復旧対応や電気の安定供給に向けた取組みの紹介パネルおよび高圧応急用電源車の展示
株式会社ニットク	トイレカー「レストルームビークル」は、自走式で運転して輸送・移動でき、駐車スペースがあればどこでも設置できます。断水・停電時にも安心してトイレが使用できます。
KDDI株式会社	KDDIの災害対策への取り組み
ソフトバンク株式会社	・ 災害時の取組に関するパネル展示 ・ 災害用伝言板サービスの紹介/体験 ・ 移動基地局車の展示

※ 変更となる場合があります。

Ⅲ 展示・体験ブース

出展機関及び概要一覧（予定）

屋外展示

機 関 名 称	出 展 概 要
株式会社アクティオ北信越支社	ジャッキ付きコンテナハウス等の展示 (ナーサリー＆キッズルーム)
一般社団法人 新潟県解体工事業協会	解体工事業協会等の冊子・パンフレットを配布・PRする。
一般社団法人 新潟県歯科医師会	発災時、避難所等での歯科診療・口腔ケアを実施するにあたって、歯科医療従事者の拠点となる車両の展示を行う。 また、避難生活における口腔ケアの重要性をリーフレット等の配布を通じて啓発を行う。
一般社団法人 新潟県LPガス協会	災害時に活躍するLPガスのパネル写真掲示とLPガスによる発電実演
一般社団法人 ジャパンケネルクラブ	災害救助犬とのふれあい、パネル展示等
楽天モバイル株式会社	楽天モバイルのブースでは、災害時の通信確保のための移動基地局車両や充電設備、Wi-Fiルーターなどの展示、そして防災バージョンの楽天お買い物パンダのノベルティ配布を行っています。
総務省信越総合通信局	非常災害時に地方公共団体へ貸し出すための、移動通信機器や臨時災害放送局等の展示、体験を行います。
NTT東日本株式会社	災害時における連絡手段「災害用伝言ダイヤル171」の体験 通信確保するための災害対策車両展示
県産業労働部 創業・イノベーション推進課	除雪作業時の事故の防止に向けて、作業を安全・効率的に行うための雪対策商品を展示します
株式会社ドコモCS新潟支店	ドコモCS新潟支店ではドコモの災害対策への取り組みを展示しております。災害時にも活躍する移動基地局車両の展示や災害対策サービス、避難所支援ツールを紹介しております。
新潟レスキューバイク隊	災害現場の記録画像、活動画像を紹介 隊で使用する実車と装備品、防災グッズを紹介

※ 変更となる場合があります。

Ⅲ 展示・体験ブース

出展機関及び概要一覧（予定）

屋外展示

機 関 名 称	出 展 概 要
日本赤十字社新潟県支部 (アマチュア無線奉仕団)	アマチュア無線奉仕団に関する展示
新潟マツダ自動車株式会社	「災害時の軽油の有用性」 ガソリンが不足する災害時に、ガソリンより調達し易く運搬や保管が容易な軽油を燃料とするクリーンディーゼル車を展示し、燃料の分散化やBCP（事業継続計画）の観点から既に導入している企業様の取組をパネル展示でご紹介します。 併せてカーボンニュートラルに貢献できる次世代燃料もパネル展示し「平時の環境、有事のBCP」についてもご紹介します。
平野石油株式会社	「災害時における非常用浄水器の活用」 RO逆浸透膜で、1時間350L（ほとんどの水を飲料水にできます）。 RO浸透膜はNASAで開発され究極のフィルターで、農薬、重金属、放射性物質等が除去されます。この浄水器の実機を、災害時をイメージしポータブル電源等から電源供給し稼働させ、ご紹介します。
新潟県防災局防災企画課 危機対策課 消防課	・起震車による地震体験を行う ・新潟県防災ナビや新潟県避難所アプリの紹介 ・消防団に関するポスター等の掲出

※ 変更となる場合があります。

Ⅲ 展示・体験ブース

出展機関及び概要一覧（予定）

屋内展示

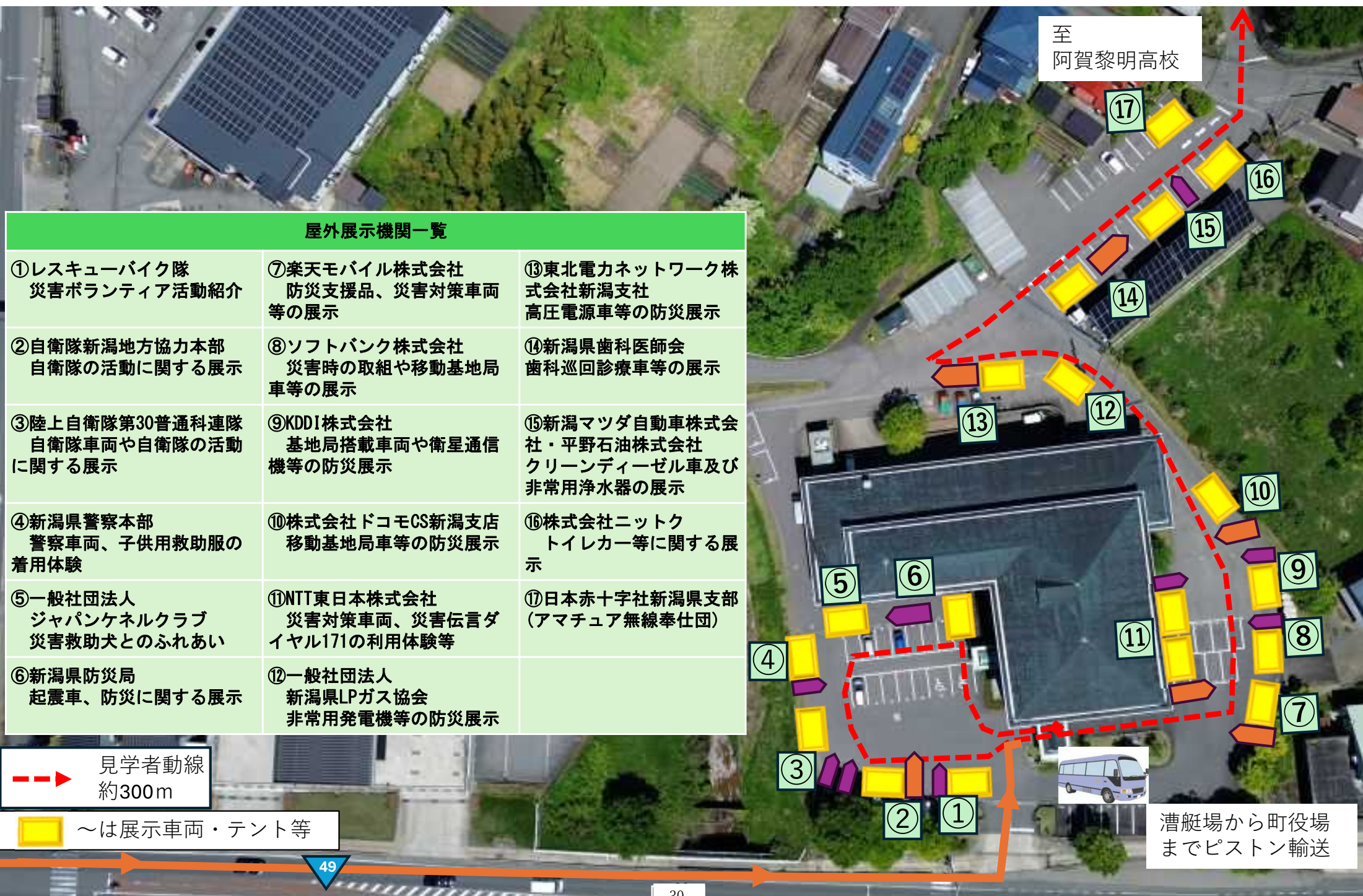
機 関 名 称	出 展 概 要
国土交通省海上保安庁第九管区海上保安本部	海上保安庁の実施した自然災害対応のパネル展示等
国土交通省北陸地方整備局	災害に対する対応状況に関するパネル展示
国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所	阿賀野川河川事務所管内にて実施している、河川・砂防・地すべり事業の概要について、パネル展示等を行う
公益社団法人新潟県栄養士会	日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）の災害発生時の活動報告の展示、及び災害発生時に備え家庭内備蓄の推奨に関して、パネル展示のほか、パンフレットの配布や食品サンプル等を活用して備蓄食品の展示予定。
日本赤十字社新潟県支部	あなたの近くで倒れた方が心肺停止状態です！さあ。どう対応すればよいのでしょうか!? ここではAEDの使用方法について実際に体験しながら学べます。
国土交通省気象庁新潟地方気象台	過去に県内で発生した地震に関するパネル展示を中心に、シェイクアウト訓練の合図となる緊急地震速報の仕組みなどを紹介し、地震災害に関する防災知識の向上を図る。
船山株式会社	保存食品や初期避難用品、その他防災用品など災害時に活躍する製品、避難所で市民の皆様が使用していただける最新の防災用品を展示いたします。
東日本段ボール工業組合	段ボールベッドの展示
イオンリテール株式会社・イオンディライト株式会社	イオンリテール/イオンディライト(株)の防災対応および会社取り組み紹介

※ 変更となる場合があります。

屋外展示(津川漕艇場)



屋外展示 (阿賀町役場周辺)



屋外展示機関一覧

①レスキューバイク隊 災害ボランティア活動紹介	⑦楽天モバイル株式会社 防災支援品、災害対策車両 等の展示	⑬東北電力ネットワーク株 式会社新潟支社 高圧電源車等の防災展示
②自衛隊新潟地方協力本部 自衛隊の活動に関する展示	⑧ソフトバンク株式会社 災害時の取組や移動基地局 車等の展示	⑭新潟県歯科医師会 歯科巡回診療車等の展示
③陸上自衛隊第30普通科連隊 自衛隊車両や自衛隊の活動 に関する展示	⑨KDDI株式会社 基地局搭載車両や衛星通信 機等の防災展示	⑮新潟マツダ自動車株式会 社・平野石油株式会社 クリーンディーゼル車及び 非常用浄水器の展示
④新潟県警察本部 警察車両、子供用救助服の 着用体験	⑩株式会社ドコモCS新潟支店 移動基地局車等の防災展示	⑯株式会社ニットク トイレカー等に関する展 示
⑤一般社団法人 ジャパンケネルクラブ 災害救助犬とのふれあい	⑪NTT東日本株式会社 災害対策車両、災害伝言ダ イヤル171の利用体験等	⑰日本赤十字社新潟県支部 (アマチュア無線奉仕団)
⑥新潟県防災局 起震車、防災に関する展示	⑫一般社団法人 新潟県LPガス協会 非常用発電機等の防災展示	

---➡ 見学者動線
約300m

■ ～は展示車両・テント等

漕艇場から町役場
までピストン輸送

Ⅲ 展示・体験ブース

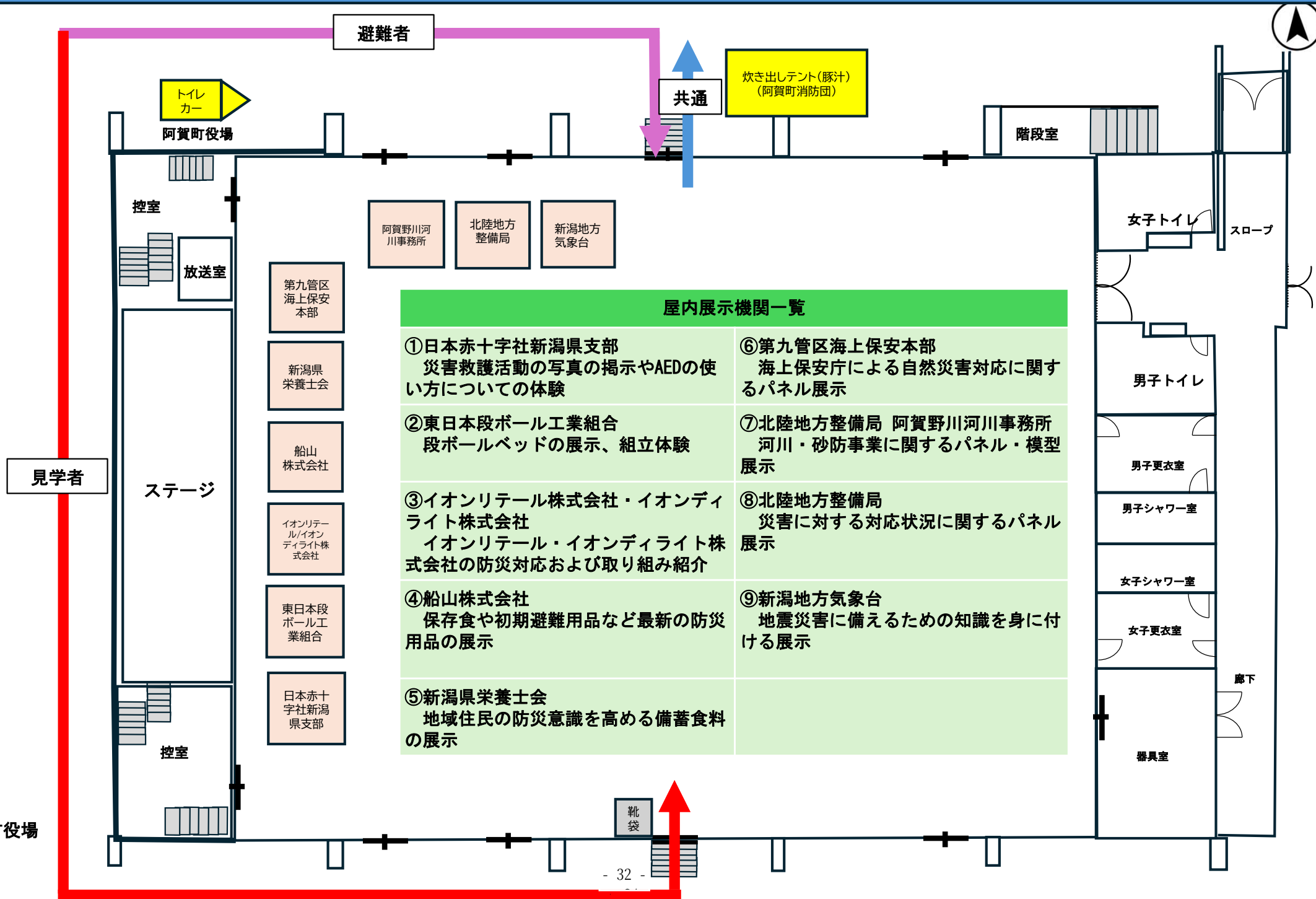
出展機関及び概要一覧（予定）

屋内展示

機 関 名 称	出 展 概 要
国土交通省海上保安庁第九管区海上保安本部	海上保安庁の実施した自然災害対応のパネル展示等
国土交通省北陸地方整備局	災害に対する対応状況に関するパネル展示
国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所	阿賀野川河川事務所管内にて実施している、河川・砂防・地すべり事業の概要について、パネル展示等を行う
公益社団法人新潟県栄養士会	日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）の災害発生時の活動報告の展示、及び災害発生時に備え家庭内備蓄の推奨に関して、パネル展示のほか、パンフレットの配布や食品サンプル等を活用して備蓄食品の展示予定。
日本赤十字社新潟県支部	あなたの近くで倒れた方が心肺停止状態です！さあ。どう対応すればよいのでしょうか!? ここではAEDの使用方法について実際に体験しながら学べます。
国土交通省気象庁新潟地方 气象台	過去に県内で発生した地震に関するパネル展示を中心に、シェイクアウト訓練の合図となる緊急地震速報の仕組みなどを紹介し、地震災害に関する防災知識の向上を図る。
船山株式会社	保存食品や初期避難用品、その他防災用品など災害時に活躍する製品、避難所で市民の皆様が使用していただける最新の防災用品を展示致します。
東日本段ボール工業組合	段ボールベッドの展示
イオンリテール株式会社・ イオンディライト株式会社	イオンリテール/イオンディライト(株)の防災対応および会社取り組み紹介

※ 変更となる場合があります。

屋内展示 (阿賀黎明高校)



IV 中止基準

1 訓練開始までに災害等が発生した場合

以下の判断日時において、いずれかの状況に至った場合は、原則として訓練を中止するものとする。

(1) 前日まで

【判断日時】① 令和8年10月16日（金）15:00

② 令和8年10月17日（土）15:00

ア 県又は阿賀町が災害対策本部等を設置した場合、又は設置が予見される場合

イ 県外で大規模な災害等が発生し、県が対応中の場合

ウ その他危機対応で、翌日以降も県の対応が必要な場合

※ 中止の場合は、16:00までにホームページに掲載するとともに、参加機関にメール等で連絡する。

[新潟県総合防災訓練 - 新潟県ホームページ](#)

(2) 当日

【判断日時】令和8年10月18日（日）5:00

ア 県内で震度5弱以上の地震が発生し、県又は阿賀町が対応中の場合

イ 県外で震度6弱以上の地震が発生し、県が対応中の場合

ウ 阿賀町へ気象警報が発表され、継続中の場合

エ 県内で気象警報が発表され、県が対応中の場合

オ 県外で大規模な災害等が発生し、県が対応中の場合

カ 危機対応で、県の対応が必要な場合

キ その他中止せざるを得ない事態が発生した場合

※ 中止の場合は、5:30までにホームページに掲載するとともに、参加機関にメール等で連絡する。

[新潟県総合防災訓練 - 新潟県ホームページ](#)

2 訓練中に災害等が発生した場合

上記1を参考に県と阿賀町で協議し、中止又は継続を判断する。

V 駐車場位置図

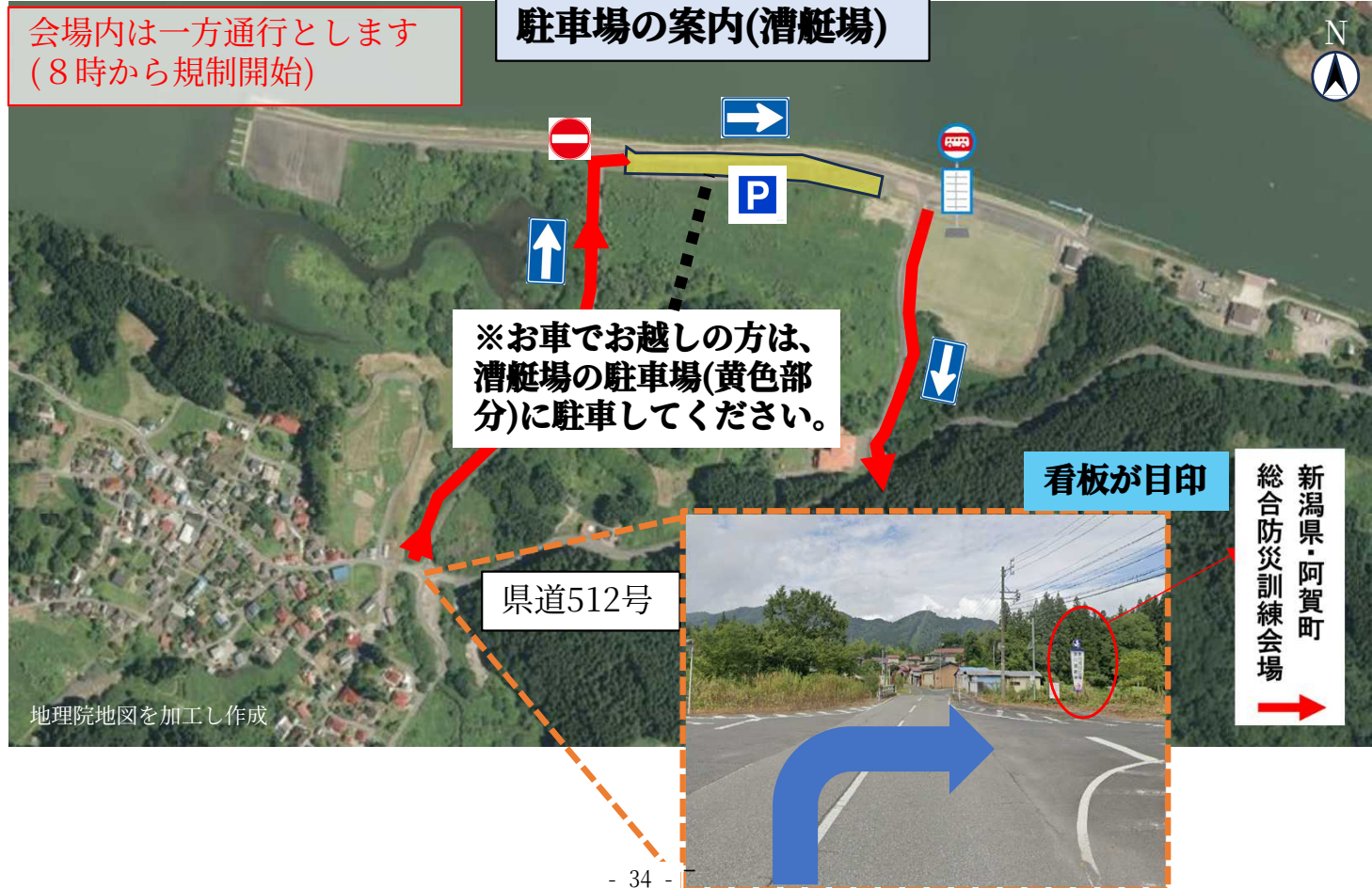
駐車場位置図

- 各会場へお車でいらっしゃる際の駐車場は「県立津川漕艇場」の駐車場です。
- 津川漕艇場と町役場本庁までの往復は無料のシャトルバスを運行します。(5分から10分間隔)

阿賀町津川地区地図



駐車場の案内(漕艇場)



VI お知らせ

「新潟県防災ナビ」でハザードマップを確認しましょう

このスマートフォン用アプリでは、県内全域の洪水や土砂災害、津波などのハザードマップを普段から手軽に閲覧でき、市町村からの避難指示や気象台からの大雨警報、洪水警報などの情報をプッシュ通知でいち早く入手することができます。

いつ発生するか分からない災害への日ごろの備えの一つとして、まずは「新潟県防災ナビ」をダウンロードしてハザードマップを確認しましょう。

非常時のために、今できること

スマートフォン用 県公式アプリ

新潟県防災ナビ



防災ナビ画面（イメージ）

令和4年8月の大雨（村上市）

**あなたと家族を守るため
今、避難を知らせます**

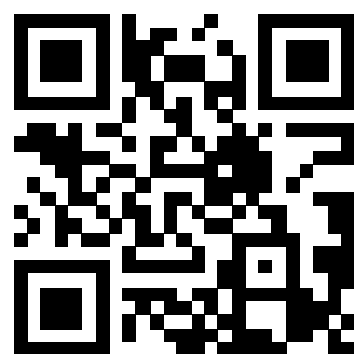
避難するために必要な情報を
ひとつにまとめて、届けます



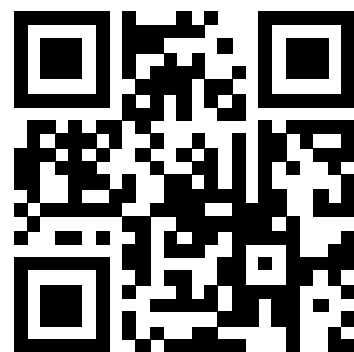
ダウンロード無料
多言語対応

新潟県防災ナビ 検索

▼ダウンロードはこちら▼



App Store



Google Play

もしものために「新潟県避難所アプリ」をダウンロード！

「新潟県避難所アプリ」は、避難所での受付や避難状況の登録などができるスマートフォン用アプリです。

あらかじめ自分や家族の情報を登録しておくことで、避難所での受付をスムーズに行えます。また、車中泊や在宅避難の場合も、避難状況や位置情報をアプリ上で登録できます。

もしもの災害に備えて、今のうちにアプリをダウンロードし、必要な情報を登録しておきましょう。



ポスターの上部には「もしものに備える！ 必須のアプリ！」というキャッチコピーと、新潟県避難所アプリのスマートフォン画面のイメージが示されています。中央には「新潟県 避難所アプリ」という大きな文字があり、その下に「災害時の避難所の受付や速やかな支援に役立つアプリです。アプリで避難所の受付や在宅避難、車中泊避難の登録を行うことで、行政からの支援が届きやすくなります。」という説明文が記載されています。

下部には「新潟県避難所アプリとは」という見出しがあり、4つの機能を紹介しています。

- 避難所でスムーズに受付**
二次元コードをかざすだけで、避難所での受付ができます。
- 在宅避難時にも**
避難所以外（在宅や車中泊）に避難しても、行政の支援が届きやすくなります。
- 行政からのお知らせ**
物資や生活再建などの支援に関する情報が届きます。
- 家族の避難場所の確認**
避難所での同時受付や、家族が避難している場所の確認ができます。

最下部には「アプリをインストールしておくことで、もしもの時の安心につながります」というメッセージがあり、iPhoneとAndroidのそれぞれのダウンロード方法とQRコードが示されています。

▼ダウンロードはこちら▼



App Store



Google Play

「新潟県災害デジタルアーカイブ」を公開しています！

県では、災害の記憶と災害から得た教訓・備えの必要性を次世代に伝えていくため、過去に発生した災害記録を体系的に閲覧できる「新潟県災害デジタルアーカイブ」を公開しています。

新潟地震（1964 年）や新潟県中越地震（2004 年）、令和 6 年能登半島地震（2024 年）など9つの災害について掲載されています。

過去の災害を知ることが未来の災害へ備える第一歩です。ぜひアクセスしてみてください。

過去を知り、
未来に備える。
「知る」これが
災害へ備える第一歩



新潟県災害デジタルアーカイブ 検索



本サイトは、新潟県で過去に起こった災害を正しく知り、備え、対応することに役立てていただくために、新潟県が開設したウェブサイトです。

開設当初は、次の9つの災害に関する情報が掲載されています。

①新潟地震(1964年)、②新潟県山形山火災(1974年)、③平成16年7月新潟-福島豪雨(2004年)、④新潟県中越地震(2004年)、⑤新潟県中越沖地震(2007年)、⑥平成23年7月新潟-福島豪雨(2011年)、⑦糸魚川市大規模火災(2016年)、⑧令和4年8月3日からの大雨(2022年)、⑨令和6年能登半島地震(2024年)

※令和7年3月末時点

新潟県

災害 デジタル
アーカイブ

新潟県防災局 防災企画課
〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1
Tel 025-282-1605 Fax 025-282-1607

Copyright © Niigata Prefectural Government. All Rights Reserved.

▼アクセスはこちら▼



VI お知らせ

災害時の食料及び生活必需品等に関する備蓄の考え方 ～災害に「皆で備える」～

県では、令和6年能登半島地震を踏まえた国の動向や、県の防災対策検討会の報告書等で示された、避難生活に必要な物資等の考え方を踏まえ、令和8年3月に、「災害時の食料及び生活必需品等に関する備蓄の考え方」を整理しました。

今後は、この考え方に基づき、県・市町村において、災害用備蓄の整備を進めるとともに、県民への家庭内備蓄の普及・啓発に当たっては、民間事業者等とも連携しながら、取組を一層強化していくことで、災害に対して「皆で備える」姿の実現に向けて取り組んでいきます。

災害時の食料及び生活必需品等に関する備蓄の考え方の整理

令和8年3月
新潟県防災局

災害時の食料及び生活必需品等に関する備蓄の考え方

1. 目的

被災者の避難生活に必要な物資の品目や量、各主体の役割の基本的な方向性を定め、平時から計画的な備蓄に取り組むことで、災害時に実効性のある備蓄体制の整備に取り組む。

2. 基本的考え方

- (1) 災害用備蓄は、自助の考えに基づき、**県民自らが、食料や飲料水、生活必需品等を確保することを基本**とする。
- (2) 自治体は、被災により備蓄した物資の確保が困難な住民等、自助・共助が及ばない分を、備蓄及び調達をもって補完(公助)する。

3. 役割

【自助・共助】・**県民**(家庭・企業・事業所、学校等)

：災害発生から、交通状況を含む流通機能の回復が見込まれるまでの「**最低3日間、推奨1週間**」分の必要な物資等は、県民が自らの備蓄で賄うことが原則。

【公助】・**市町村**：住家や施設の被災により、備蓄した物資等が確保できない住民や、一時的滞在者の救援のために必要となる物資等を備蓄。

※ 被災を免れた市町村(非被災市町村)は、当該備蓄を被災市町村への支援に充てることも想定。

・**県**：分散備蓄(上・中・下越及び佐渡)をして、物資の供給が困難な市町村を補完。

まずは、県民一人一人が、「3日分」の備えをしっかりと準備しておくことが大事！

そのうえで、県と市町村も必要となる物資の内容を検討して備えているんだね。

災害に「皆で備える」というイメージ



災害多発時代のライフスタイル！「ローリングストック」

災害時に備える「ローリングストック」とは、普段から食べている食品や飲料を少し多めに買い置きし、消費した分を買い足して常に一定量を備蓄しておく方法です。非常食を特別に準備するのではなく、日常生活の中で無理なく防災につながれるのが特長です。レトルト食品や缶詰、乾パン、飲料水など、普段から使えるものを少しずつ回すことで、賞味期限切れの心配も減り、いざという時にも安心です。家族構成や好みに合わせて備えることができます。

災害多発時代のライフスタイル！ ローリングストック 保存版



「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。



新潟県

にいがた防災ステーション
NIGATA BODAI STATION

日常から使用し、災害時にも使用するものは 今すぐできる「ローリングストック」

過去の経験によれば、災害発生からライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。また、災害支援物資が3日以上到達しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーやコンビニなどで食品や日用品が手に入らないことが想定されます。そのため、最低3日分～1週間分の家庭備蓄が望ましいといわれています。ローリングストックを習慣づけることは、家族の食料を確保するというだけでなく、いざと言う時に、企業が生産する物資を被災地に優先的に届ける助けにもなります。

家庭備蓄の例（1週間分 / 大人2人の場合）

家庭の備蓄をチェック！

必需品		・水 2L×24本 ※1人1日およそ3L（飲料水＋調理用水） ・カセットコンロ×1台 ・カセットボンベ×12本 ※1人1週間およそ6本
主食		・米 2kg×2袋 ※1袋消費したら1袋買い足す（1人1食75g程度） ・乾麺 ※1袋消費したら1袋買い足す（1人1食75g程度） ・カップ麺×6食 ・パックご飯×6個
主菜 たんぱく質		・レトルト食品×18食 ※牛丼の素、カレーなど ・パスタソース×6食 ・缶詰（肉・魚）×18缶
副菜 その他		・日持ちする野菜類 ・梅干し、のり、乾燥わかめなど ・野菜ジュース・果汁ジュースなど ・調味料 ・即席スープ ・お菓子
日用品		・トイレットペーパー・ティッシュ・除菌グッズ・歯ブラシなどの洗面道具・ビニール袋 ・ラップ類、アルミホイル・乾電池・チャッカマン・軍手・乳児の日用品 →普段の生活に必要なものはお家の備蓄をチェック

監修 / 新潟大学大学院 客員教授 博士（歯学） 別府 茂 ・ 公益社団法人 中越防災安全推進機構



防災に役立つお得な情報をお届け /
にいがた防災ステーション

「LINE公式アカウント」を、お友達登録して、アンケートにご協力ください。



新潟県

にいがた防災ステーション



**来年の新潟県総合防災訓練は
湯沢町で開催予定！**

